

消費者ネットワーク

2007年1月1日

第115号

全国消費者団体連絡会
発行責任者 神田敏子

TEL : 03-5216-6024

FAX : 03-5216-6036



消団連とこのごろ



2006年12月24日、全国消団連は満50歳になった。「50周年記念誌」にもまとめたが、この半世紀の間、様々な問題に取り組んできた。10年前には組織改革をし、会員も大幅に拡大した。そして、消費者問題が質的に変化する中、03年には「消費者運動ビジョン」を作成し、向こう5年間を見据えた運動を今進めてきている。

この間、消費者基本法の改正や消費者団体訴訟制度の制定などに向けて、大きな役割を果たしてきた。また審議会等への参加も非常に増え、消費者団体としての発言力も増してきている。こうした中で、「ビジョン」に沿った取り組みは、一定進んで来たといえる。

しかし、「消費者団体として今後取り組みを強化すべき課題」のひとつである「企業の不祥事多発への対応」が大きく遅れており、気になっている。「ビジョン」作成当初は、食品企業の不祥事が多かった。この1年は製品被害が非常に目立っている。消費者基本法でようやく「消費者の権利」が謳われたものの、この権利が尊重されているとは、到底思えない状況である。

消費者運動の原点は、消費者と事業者との間の問題を解決することであり、消費者重視の事業活動がなされているかどうかを監視・評価する活動は、消費者団体の重要な役割のひとつだと認識している。評価にあたっては、自主行動基準の有無だけではなく、正しい表示をしているか、消費者の意見を聞き、それを改善につなげているか、安全性を確保するためのシステムはできているか、問題が起きてしまった時の対応や救済措置などの危機管理体制はしっかりしているかなど、実際に具体的に検証する必要がある。そして、評価に基づき改善を求めることとあわせて、消費者重視の事業活動を行っている企業を公表するなど、いい企業の広がりをも促すような活動も展開したい。

「ビジョン」も後半の時期になった。50歳の力を発揮しながら、2007年は、このテーマに本気で取り組みたい。

もくじ

消団連とこのごろ	・・・p.1
全国消団連で出した「アピール」と「意見書」の紹介	・・・p.2
第45回全国消費者大会を開催	・・・p.3
2006年度 都道府県における消費者行政調査を報告します	・・・p.9
国際消費者機構のコーヒーキャンペーン（その2）	・・・p.10
会員団体活動予定	・・・p.11
お知らせ・編集後記	・・・p.12